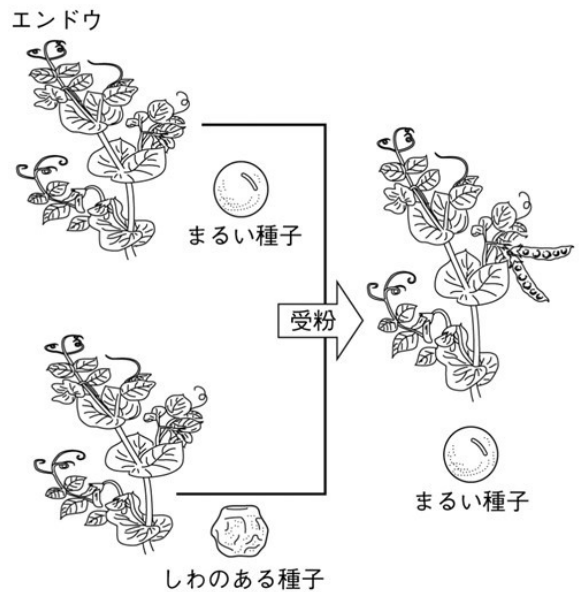


第2分野 1-7 遺伝の規則性①

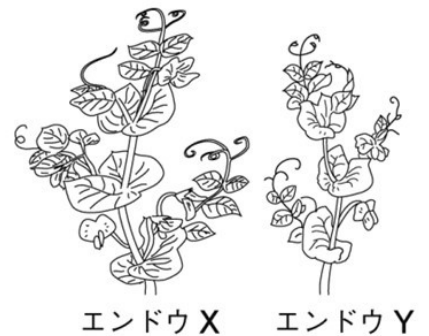
1 次の文中の()にあてはまる語句を答えなさい。

遺伝において、代々同じ形質を現すようになったものを(①)といい、遺伝の規則性を調べるにはこれらを用いる。ある形質について、同時に現れることがない形質を(②)という。②の①どうしを掛け合わせると、できた子には決まった一方の形質だけが現れる。このことを(③)といい、現れた方の形質を(④)、現れなかった方の形質を(⑤)という。



①		②	
③		④	
⑤			

2 右の図のような、まるい種子をつくる純系のエンドウXとしわのある種子をつくる純系のエンドウYを掛け合わせる実験を行うと、できた種子はすべてまるいものであった。ただし、まるい種子をつくる遺伝子をA、しわのある種子をつくる遺伝子をaとする。以下の問いに答えなさい。



- (1) しわのある種子は、優性形質と劣性形質のどちらか。どちらか1つを選びなさい。
- (2) エンドウXとエンドウYのそれぞれの体細胞がもつ遺伝子の組み合わせをそれぞれ記号で答えなさい。
- (3) 減数分裂によって生殖細胞がつくられるとき、対になっている遺伝子が別々の細胞に分かれることを何とよぶか。答えなさい。

(1)		
(2)	(エンドウX)	(エンドウY)
(3)		